2011年度「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」第1回委員会開催結果について

2011年度の「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」第1回委員会が、2011年12月5日(月)、東京ガーデンパレスで開催されました。

コンソーシアムは、大学において、ロジスティクスに対する実践的な人材育成を可能とするプログラムを開発、運営していくためのものです。プログラムは、産学連携で行われ、学生の学修意欲を高め、またロジスティクスの現場に対する理解を深めるため、企業現場の事例を豊富に含む科目で構成されています。具体的には「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の6科目で構成されています。このプログラムを、円滑に産学連携で実施するためには、企業と大学との情報交換、事業の継続性、体系化が大きな効果をもたらすものと考えられます。コンソーシアムは、企業と大学が継続的な組織体制の確立を図り、効果あるプログラム開発に取り組むことが必要であるということから、2010年度に物流科学研究所内に設置されたものです。

コンソーシアムの委員長は流通経済大学流通情報学部長、物流科学研究所長の増田悦夫、さらにロジスティクス関連の業界団体、企業の委員（日本ロジスティクスシステム協会、全日本トラック協会、全国通運連盟、NITTSUグループユニバーシティ、日通総合研究所、味の素物流、あんしん、川崎陸送、金方堂運輸、アジア住友商事、全日空、オーシャントランス、飛天ジャパン、みずほ情報総研）14名及び本学教員12名で構成されています。当日は、委員19名と学長が出席し、委員会幹事である流通経済大学教授の矢野裕児の進行の下に、ロジスティクス産学連携コンソーシアムの今後の進め方について、熱心な議論がなされました。

当日の議題は、次のとおりです。

1）ロジスティクス産学連携コンソーシアムの立ち上げについて
2）2010、2011年度の産学連携プログラムの実施状況
3）産学連携科目に対する評価のアンケート調査・分析
4）コンソーシアムの今後の進め方について

なお、ロジスティクス産学連携コンソーシアムは今後も、年2回を目途に開催する予定です。

「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」2011年度第1回委員会資料については、大学のホームページをご覧ください。